

なかよし・けんこう・とよく

天見小校長室だより 春休み号

令和7年3月24日

天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

あつという間の一年間。毎朝のあいさつに立っていますと、子どもたちの背が一回り大きくなったと感じます。と同時に子どもたちの伸びようとする大きな力をいつも感じます。学年が一つ分、お兄さん・お姉さんになり、その分、頼もしく大きくなっていく子どもたち。ついこの間、令和6年度が始まったばかりのように思いますのに、月日が流れるのが早いのは、年齢のせいなのか、充実した日々のおかげなのか、とても速く感じるのです。

今日は子どもたちに一年間のがんばった「あゆみ」をお渡ししました。一年間、いろんなことを頑張ってきた子どもたち。身体が大きくなった子、学習面で伸びた子、思いやりなど心の面で伸びた子、意欲が伸びた子、考えの深まりが伸びた子・・・それぞれに伸び方も伸びたところも違うかもしれませんが、私から見ても1年前の子どもたちとは全然違い、たくましく、大きく、立派になったと感じています。どうぞ1年間を思い返してできるようになったことを、今日は褒めてあげてください。褒められると必ず自己肯定感が育ち、もっと頑張っていこうと思う気持ちになります。

先日卒業式が無事挙行されました。立派に卒業していった11人の子どもたち。晴れ晴れしい日ではありますが、6年間一緒に過ごした子どもたちと別れるのがとても寂しい日でもあります。今日の修了式も同じです。おそらく先生方は、「一年間ありがとう。これからもこの調子で頑張る。」と子どもたちに伝えておられることでしょう。

天見小学校の「お別れ会」



なんと心温まるお別れ会だったことでしょう。たくさんの方に見守られながら一人ひとり、6年生は晴れ晴れしい顔で入場し、合唱や合奏を披露してくれました。

1年生から6年生の出し物に、心打たれる時間がたくさんあり何度も目を潤わせながら、歌や合奏を聞いていました。最後の合唱では体育館が持ち上がるほどの歌が圧巻でした。鶴田先生が子どもたちに、「これが6年生とうたえる最後だよ。」と声をかけておられたのが印象的でした。「ああ最後なんだ。」という寂しさと「最後は歌で感謝を告げる。」その気持ちが子どもたちには通じているようでした。一年間天見小学校を引っ張ってってくれた上級生に。いろいろお世話になった地域の方に。優しく見守ってくださった学校職員や先生方にも、たくさんの感謝の気持ちを伝えることができました。代表して6年生がその気持ちを言葉にして一生懸命伝えてくれている姿を見て、「りっぱなあ。」と感じ、みんなの歌声が震えるほど素敵な子どもたちの表情を見て、「まっすぐでいい目だなあ。」と感じ、幸せな気持ちでいっぱいになりました。

参観に来てくださった保護者のみなさま、地域の方々には、いつも子どもたちを温かく見守ってくださっていることにお礼を申し上げます。子どもたちの合唱や合奏から元気をもらっていただけたら、とてもうれしいです。今後どうぞ温かく見守ってくださるようよろしくお願いいたします。これからも、保護者と地域と学校と、三位一体で、ますます天見小学校が栄えていきますよう、よろしくお願いいたします。お忙しい中、ご参観ありがとうございました。



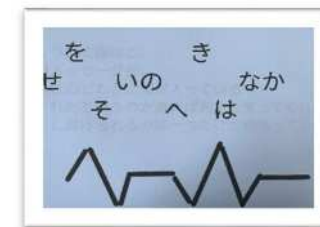
学校全員遊び 6年生や体育委員会の企画

例年、この時期、学校全員遊びを6年生が中心となって慣行してくれています。今年は、「謎解き」でした。各班で謎を解いて、元の場所に戻ってくるという、一工夫がなされていました。学校全員で遊ぶこの日は、いつもみんなの楽しみの一つで、天見小学校だからこそ、できる温かい遊びだと思います。縦割り班が充実し、学年を超えてよく話をしていること・・・などなどすべてが相まって素敵な時間と空間が生まれています。これを企画した6年生もみんなの笑顔を見ながら、大満足の様子でした。「人を楽しませること」を楽しめる高学年に育ててくれて本当に良かった。「人のために」企画したり、動けたりすることは、社会の中に出ても一番大切なことだと思うからです。卒業していく6年生のこれからの未来が楽しみで仕方ありません。どんななぞ解きを考えたのか、少し紹介します。全部で5問。なぞを解くことができますか。私はちなみに、①と②が難しかったです。お家でもみんなで解いてみてください。

【第1問】

1つ目の謎はこのメッセージだ、
はこのどれかに宝が入っている
これだというのがあれば先生に言ってくれ、ただし開けられるのは一つだけ頑張ってくれ

【第2問】



【第3問】



【第4問】

?を答えよ
#ER=アイス
XYJ=さんま
NTY=みかん
#JN=?

【第5問】

?を答えよ!!
赤 暇 水
あか ひま みず
カ + ㄩ + ㄩ = ?

女手 ㊟
女手 = NF # ㊟
女手 = □△○ ㊟
...女手 - 女手の (12) 中の 女の 手 ㊟
...女手 - 女手の (12) 中の (1) の I ㊟
答は、手て天見になります。

卒業 おめでとう！



来賓の方々、保護者、先生、そして全校児童の在校生、たくさんの人に見守られながら、立派に11人、天見小学校から巣立っていきました。前を向き、堂々と胸を張り天見小学校の門をくぐっていきました。

天見小学校では、全校児童が卒業式に出席します。長い時間を、姿勢よく頑張った在校生の態度にも感心しました。代表で6年生に伝えた5年生がしっかりとがんばってくれたことも嬉しかったですし、贈る言葉を全員で声を合わせた6年生への「ありがとうございます。」の言葉やビリーブの歌声にも感動しました。

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。これからの未来に希望を膨らませ、自分の信じる道を歩いて行ってほしいと願っています。

卒業式でお話ししたことを中核のみ、お伝えさせていただきます。

・・・略・・・

あなたたちと出会ってからの この2年の間にも、皆さんが成長したな と、うれしく思うことがたくさんありました。特に6年生での この一年間は、天見小学校の最高学年として下級生のお手本となるよう、どんなことにでも 力いっぱい取り組んでくれたことは 間違いのないでしょう。そして、その様子から わが校で 大切にされてきた 教育が しっかりと身につけていると 感じました。

まず、思いやりが育ちました。ともに天見小学校で学ぶ友だちや下級生への思いやりです。縦わり活動では、皆を引っ張り、やさしい言葉がけを忘れず、下級生があこがれる6年生でいてくれました。

次に自主性です。行事のたびに 自分たちで作り出していく バイタリティを 感じました。皆が楽しめるように 中心になって 天小まつりを考え 運動会での縦割り競技を考え 学校の全員が笑顔になる時間を作ってくれました。

三つ目に信頼です。担任の川端先生は 皆のことを心から信頼できると話しておられました。様々な行事を進行する中で 次はどんな企画が生まれるか、とても楽しみだったとお話しされていました。

このように 様々なことを学んできたあなたたちに これからも元気よく生きていってほしいので、次のお話を送りたいと思います。

イソップの寓話の中に「3人のレンガ職人」というこんなお話があります。

世界中を回っている旅人が、ある街はずれの一本道を歩いていました。するとある人が道のわきで難しい顔をして レンガを積んでいました。旅人が「ここで一体何をしているのですか。」と尋ねました。ある人は答えました。「何って、レンガ積みが決まっているのだろ。朝から晩まで、私はここでレンガを積んでいるのさ。暑い日も、風の日も、一日中ずっとレンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこの通り。」その人は、ひび割れた両手を出して見せました。

「大変ですね。」旅人は、その人に慰めの言葉を残して、歩き始めました。

もう少し行くと、一生懸命、レンガを積んでいる別の人の人に出会いました。先ほどの人のように、辛そうには見えませんでした。「ここで一体何をしているのですか。」「私はね。ここで大きな壁を作っているんだよ。」「大変ですね。」旅人はいたわり鶉の言葉をかけました。「なんてことはないよ。この仕事のおかげで私は家族を養っていけるんだ。」旅人は、その人に励ましの言葉を残して、歩き続けました。

また、もう少し歩いていきますと、別の人が生き生きと楽しそうにレンガを積んでいるのに出会いました。「ここで一体何をしているのですか。」旅人は興味深く尋ねました。

「ああ、私のことかい？私は歴史に残る偉大な大聖堂を作っているんだ。」「大変ですね。」旅人はいたわりの言葉をかけました。「とんでもない。この大聖堂が完成したら、100年先200年先にも、ここで多くの人が祝福を受け、悲しみを払うんだぜ。素晴らしいじゃないか。」旅人はその人にお礼の言葉を残して、また元気いっぱい歩き始めました。

3人のレンガ職人の答えから、次のようなことが分かります。

最初のレンガ職人は、辛い仕事を、仕方なくやらされている感じがします。

2番目のレンガ職人は、この仕事が好きかどうかはともかく、家族を養うために仕事をしています。3番目のレンガ職人は、自分の仕事で、人々に喜ばれ、後世にも残るとやりがいを持って働いています。もちろん、我慢強さだとか家族のためにだとか3人それぞれにいいところがあることはわかります。

全く同じ仕事をしている3人ですが 比べてみると 働く意識が違います。どの人が一番楽しく仕事をしているように思えますか。3番目の人が一番楽しそうに仕事をしているように思いませんか。【捉え方】や【考え方】によって、その仕事へ向かう気持ちも、仕事への楽しさも 違ってくるでしょう。

さらに言うと、校長先生は、あなたたちには4人目のレンガ職人になってほしいと思っています。それは、「レンガを積む仕事が楽しくて仕方がない人」です。仕事が楽しく、そのための工夫を考えることが苦にならず、あっという間に時間がたっているような人です。それを実際にやってこられた方は世の中にたくさんおられます。ホンダという自動車メーカーを知っていますか。創業者の本田宗一郎さんは、夢中で工場で働いていると、昼になっても誰も来ないことに気づき、「おかしいな。」と思ってカレンダーを見ると、その日は正月だった。」という逸話があります。

総合の時間のキャリア教育で、皆さんにもお話ししましたが、好きなことにはどれだけ時間をかけても楽しいものです。どんなに辛い練習や仕事であっても 何の苦にもならなくなります。これから先、そういうものにたくさん出会えたら、人生が豊かになり、幸せにつながるのではと思いました。

春からは中学生です。今まで以上に「自分で考え、判断し、行動する力」が求められます。中学校で学習する色々なことに興味を持ち、いろんなことに挑戦し、「夢中になれるもの」を見つけて しっかりと歩いていってください。

卒業生の皆さん、どうか体に気をつけて、立派に活躍されることを祈っています。皆さんの可能性に、皆さんの頑張りに、私たち天見小学校の教職員みんな、応援し、期待をしています。
・・・略・・・

今年の卒業式になぜこの話を選んだかということ、6年生の子どもたちに、私がキャリア教育でお話をさせていただいたときに、自分は教員という仕事に出会えてとても幸せだったなと改めて思ったからです。どんなに大変な仕事でも仕事が楽しくて仕方なかったのです。子どもたちも、大きくなれば大きくなるほど、これから自分で選択していくことが増えてくるでしょう。その時には、好きで頑張れるものと出会ってほしい、前向きに頑張れるものと出会ってほしい、そう思ったからです。今のあなたたちのように、いつも笑顔で前向きに考えられる気持ちが、やりがいを生み、次につながることを忘れないでほしいと卒業生にも在校生にも思うのです。

天見小学校の子どもたち皆に、「笑顔あれ、幸あれ、未来あれ。」と願っています。

お子様たちは、ここで、6年の間に、分かりあえる友達と出会い、貴重な体験をたくさんしてきました。天見の里が、わが心のふるさととなりますよう、心からお祈り申し上げます。

皆様、一年間ありがとうございました。家庭と地域と学校と、3つの力とつながりを大切に、これからも天見小学校の子どもたちのため、どうぞよろしくお願ひいたします。